



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 井 上 裕 貴
幹 事 中 谷 徹 雄 会 報 委 員 長 大 原 文

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2218

2015-2-13

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

本日の例会) 2月13日(第2例会)

- 卓話 「日本と米国の司法制度」
日本の企業は何故、米国で多額な紛争にまき込まれるのか。司法制度の違いからくるのか?

中本和洋会員

- 次年度理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

次週のお知らせ) 2月20日(第3例会)

- 卓話 「夢を叶える 3大資源」
・感謝は根を養う ・感動は幹を育てる
・喜びは枝葉を伸ばす ・枝葉は向こうに夢の花は咲く

ヒューマン・リソース研究所長 鈴木民二氏
(奥田秀行会員担当)

- 食膳 〈フランス 肉料理〉

次々週のお知らせ) 2月27日(第4例会)

- 卓話 「生きる事と生かされる事」
内藤喬皓会員

先週の記事) 2月6日(第1例会)

- 出席報告
出席会員 43名 (内免除会員 12名)
会員総数 50名 (同上 15名)
ゲスト 0名
ビジター 1名

計 44名

ホームクラブ出席率 91.48%

1月23日(第4例会) 補正出席率 100% (MU 5名)

- ゲスト&ビジター(敬称略)
上田 豊(大阪南)

◆会長挨拶◆

今月はロータリーの創立記念日の月です。1905年2月23日にポール・ハリスはシルベスター・シールとガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレの4人で1業種1名からなる会員の真の友情と相互扶助を求めてクラブを創立しました。1910年に全米16クラブの連合体として全国ロータリー・クラブ連合が結成され最初の綱領が採択されました。2月は世界理解月間です。ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために他国の人々、その文化、習慣、業績、抱負、問題を知ることであり、クラブ活動を通じて個人交流により他国の人々に協力することであるとされています。

◆幹事報告◆

地区事務局より第2回クラブ社会奉仕委員長会議開催のご案内が来ております。中尾社会奉仕委員長に回付いたします。

◆三木俊裕会員よりのご連絡◆

先週、樋口玄正様に能面について卓話をしていたのですが、その折、皆様にご案内いたしました京都三条の能面喫茶は、3月11日水曜日より開催の運びとなりました。2月11日水曜日は、祝日と重なるため、大変な混雑が予想され、能面を見て頂く環境にないとの連絡を頂きました。



▲永井会員にポール・ハリスフェローの称号授与

2月は世界理解月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

卓話

2月6日〈第1例会〉

「関西における訪日外国人市場の現状と今後の課題」



米田昭正会員

この度は、ここ数年、著しく増加しているインバウンド・ゲスト（訪日外国人）の動向についてお話しさせていただきます。

まず、毎週、当ホテルにお越しいただく際にも感じておられること

と思いますが、このホテルでも外国人宿泊者数は急増しており、2014年度は、年間総宿泊者数約30万人中15万人と、確実に50%を超えます。3年前の2011年度には約15%でしたから、3年間で3倍以上伸びました。大阪中のホテルが同じで、英語対応は当然、中国語、韓国語での対応、そしてハラルフード提供等、大わらわといった状況です。ちなみに、当ホテルでは半数ですが、お隣のスイスホテル南海では約80%まで上がっているということで、館内で十分に異国情緒が味わえます。

では、日本全体でのインバウンド状況についてお話ししますと、日本は未だ後進国です。2013年の年間外国人訪問者数を比較しますと、日本は世界27位、アジアでも8位です。1位は仏の83百万人で米、スペイン、中国の56百万人と続き、日本は中国の5分の1、10百万人しか訪れておりません。ただ、ご存知のとおり2014年は13.4百万人に達し、政府は2020年の25百万人を目標にしていますが、オリンピック開催の影響もあり、達成は可能でしょう。国別では、2014年1～9月で①台湾(22%)、②韓国(21%)、③中国(18%)、④香港(7%)の順で、アジアのシェアはこの10年間で68%から81%に増加しています。そして、この1年間の伸びでは中国が80%、フィリピンが64%、タイとマレーシアが52%、ベトナムが49%と東南アジア勢の伸びが顕著です。

次に関西のインバウンド状況ですが、2011年に東北大震災で215万人まで落ち込んでおりましたが、2014年1～11月期で既に288万人まで急増しており、初の300万人超えは確実です。ただし、成田、羽田空港のシェアが50%であるのに対し、関空は23%と半分以下です。国別では、2014年1～10月で①韓国(22%)、②台湾(22%)、③中国(20%)、④香港(9%)の順で、アジアのシェアは83%に達します。欧米の比率が3.5%ですから、いかにアジアからの訪日が多いかがわかります。この要因はビザの緩和とLCCの増加が挙げられます。関空においても、この5年間で便数は9倍の週153便、シェアも3%から20%に増加しています。外国人の宿泊者数で見ますと、東京がダントツのトップ

ですが、大阪は2位、京都は4位です。ただ問題は、その他の関西圏での宿泊が少ないことです。また、国別では東京においては欧米からの宿泊者が20%、アジア57%であるのに対し、大阪は欧米8%のみでアジアが78%とアジアからの方が中心となっています。ただし、京都には欧米人が24%と、関西においても大きな違いがあります。

次に、訪日外国人の消費動向について見てみますと、人数の伸び以上に消費額が伸びております。13年と11年の対比では人数の伸びが1.67倍であるのに対し消費額は1.74倍の伸びで、円安により多少、財布が緩んでいるのかもしれませんが。ちなみに13年の外国人の年間旅行消費総額は1兆4,167億円と巨大市場なのですが、お国柄で消費スタイルが大きく異なります。旅行消費額トップの中国人は1人当たり210千円であるのに対し、2位の台湾人は112千円、3位の韓国は81千円と中国人の消費額の大きさが目立ちます。支出内訳も中国人が買物代に52%を使い、台湾人の38%、韓国人の28%を大きく上回ります。品物としては、3カ国ともトップは菓子類、化粧品、酒・タバコが占めるのですが、中国人の電気製品好き、台湾人の医薬品・健康グッズ好き、韓国人の漫画アニメ好きが目立ちます。

今後の課題として、①魅力的な観光資源が大阪から100km圏内に集中している関西の優位性のより一層の発揮、リピーターの獲得、②言語、食べ物を含む受け入れ態勢の整備、③受け入れ側の日本文化理解とおもてなしの心が挙げられます。グローバル化が進展する世界にあって、このインバウンド増加の動きは、当分、継続すると思います。日本人としてお客様を大切にするとともに、多少なりともビジネスにつなげられれば幸いです。

にこにこ箱

2月6日(第1例会)

- 当社の商売がらみのお話で恐縮です。拙い話ですがよろしく願います。
米田会員
- 米田さん、本日の卓話有難うございます。
岩永会員
- 長らく休んでいました。来週は卓話をやらせてもらいます。
中本会員
- 68歳のバースデー、42回目のプライダル記念日、感謝です!!
奥田会員
- 他 早退お詫び1件、お祝い23件

(編集担当 大原・宇津井)

会員増強にご協力を!!